

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 アネスト岩田株式会社
 コード番号 6381 URL <https://www.anest-iwata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 鷹野 巧一
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-591-9344

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,914	20.3	410	43.7	561	33.0	435	18.0
2020年3月期第1四半期	8,672	1.8	728	20.3	838	14.9	530	17.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 53百万円 (108.7%) 2020年3月期第1四半期 622百万円 (1,302.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.47	
2020年3月期第1四半期	12.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,329	33,904	66.1
2020年3月期	48,102	34,570	64.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 30,616百万円 2020年3月期 31,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.00		12.00	24.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	30,000	23.3	500	87.1	800	81.8	650	76.1	15.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名)

除外 2 社 (社名)

アネスト岩田コンプレッサ株式会社、アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	41,745,505 株	2020年3月期	41,745,505 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	186,703 株	2020年3月期	186,703 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	41,558,802 株	2020年3月期1Q	41,738,832 株
------------	--------------	------------	--------------

当社は、2020年3月期より株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(前連結会計年度:期末自己株式数180,000株、期中平均株式数18,277株、当第1四半期累計期間:期末自己株式数180,000株、期中平均株式数180,000株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績及び財政状態に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績及び財政状態に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

①概要及び経営成績

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、世界各地で休業要請や外出自粛が行われるなど、経済活動及び社会活動が大幅に制限されたことにより、大きな影響を受けました。日本経済においても、緊急事態宣言が発出されるなど、世界経済と同様に影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。当社グループは、在宅勤務や時差出勤を奨励することで感染リスクの低減に努めるとともに、感染拡大が深刻な海外拠点の従業員に対しては生活基盤を保障するための一時支援金を支給するなど、一連の事態への対応を続けております。また、広くグローバルに展開し地域ごとの販売割合が分散されているため、世界経済の地域別変動に対するリスクヘッジとなっております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,914百万円（前年同四半期連結累計期間対比20.3%減）、営業利益410百万円（同43.7%減）、経常利益561百万円（同33.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益435百万円（同18.0%減）となりました。

(ご参考値) 事業部別の状況

(単位：百万円)

事業部 (製品区分)	当第1四半期連結累計期間 2020年4月1日～2020年6月30日	
	連結売上高 (前年比)	連結営業利益 (前年比)
エアエナジー事業部	4,042 (△22.4%)	199 (—)
圧縮機	3,772 (△21.8%)	
真空機器	270 (△29.4%)	
コーティング事業部	2,871 (△17.1%)	210 (—)
塗装機器	2,707 (△16.9%)	
塗装設備	164 (△20.8%)	
合計	6,914 (△20.3%)	410 (△43.7%)

(注) 事業部別の連結営業利益は、当社グループ独自の基準により算定しております。

②財政状態の分析

資産は、流動資産が25,844百万円（前連結会計年度比3.4%減）となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が1,765百万円減少した一方、「原材料及び貯蔵品」が711百万円増加したことなどによるものです。固定資産は20,485百万円（同4.0%減）となりました。これは主に、「投資有価証券」が329百万円減少したことなどによるものです。その結果、総資産は46,329百万円（同3.7%減）となりました。

負債は、流動負債が8,469百万円（同10.8%減）となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が366百万円減少したことや「賞与引当金」が367百万円減少したことなどによるものです。固定負債は、3,956百万円（同1.9%減）となりました。その結果、負債合計は12,425百万円（同8.2%減）となりました。

純資産は、33,904百万円（同1.9%減）となりました。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は30,616百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から1.5ポイント増加し66.1%となりました。

③セグメントの業績

当社グループで採用しております地域別セグメントの状況は以下のとおりです。なお、セグメントの業績に関する詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）をご参照ください。

日本

売上高は4,127百万円（前年同四半期連結累計期間対比15.0%減）、セグメント利益は511百万円（同2.4%減）となりました。利益については、前年同期比で減少するも、企業活動の自粛要請に従ったことにより旅費交通費や広告宣伝費が削減されたことで販売管理費が減少したため、減少幅を抑えることができました。

圧縮機製品では、緊急事態宣言による経済活動の停滞により売上が減少したものの、移動制限の解除に伴い、給油式往復圧縮機を中心に売上が復調してきています。

真空機器製品では、経済活動の停滞を受けて当四半期前半の売上は大きく減少しましたが、緊急事態宣言解除後は一般産業の製造活動再開の動きとともに回復傾向にあります。

塗装機器製品では、第2四半期に向けた各種キャンペーンの準備や拡販活動を進めましたが、スプレーガンや提案型商材の販売が落ち込んだことにより、売上が減少しました。

塗装設備製品では、着実に納入工事などを進めた結果、売上はほぼ横ばいで推移しており、引き続き物件の獲得に向けて活動しています。

また、事業環境の急速な変化に対応するため設立した国内営業本部では、マーケティングオートメーションを活用した顧客開拓を推進しております。新型コロナウイルス感染症の拡大により外出を伴う営業活動が一時的に制限されたものの、その影響を最小限に留めるべく、WEBセミナーの開催をはじめとした効率的なプロモーションに注力することで売上及び利益の維持拡大に向け万全を期しております。

ヨーロッパ

売上高は1,196百万円（前年同四半期連結累計期間対比9.1%減）、セグメント利益は101百万円（同24.4%減）となりました。

圧縮機製品では、前期から継続して各国の市況が停滞していることから、売上は減少しました。加えて、当四半期後半より急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、企業活動の制限を余儀なくされるなど、下押し要因となりました。

真空機器製品では、装置メーカー開拓を継続していますが、新型コロナウイルス感染症拡大により取引先の投資計画の先送りや新規開拓活動に遅れが生じたことなどをを受けて売上が減少しました。

塗装機器製品では、当四半期後半から経済活動が停滞したことにより、売上が減少しました。一方で、ロックダウンによるサプライチェーンの分断に備え、各子会社における在庫の積み増しを実施するなど、対応策を早急に講じたことで売上減少への影響は最小限に留まっています。

アジア

売上高は2,111百万円（前年同四半期連結累計期間対比32.6%減）、セグメント利益は4百万円（同98.3%減）となりました。

圧縮機製品では、中国において新型コロナウイルスの影響がピークを迎え、売上が減少しました。また、インドにおいてロックダウンの措置が取られたことにより、現地子会社が操業停止状態となったことも、売上減少につながりました。

真空機器製品では、中国において新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が停滞したことで売上が減少しました。一方で、当四半期後半からは市況回復の兆しが見え始めたことに加え、政府主導による通信インフラ投資の強化も相まって復調傾向にあります。

塗装機器製品では、中国では新型コロナウイルス感染症の影響を受けて売上が大きく減少しました。加えて、インドや東南アジアでは、政府の要請による活動制限の影響により、売上が減少しました。現在も一部制限が残っており、厳しい状況が続いています。

塗装設備製品では、新型コロナウイルス感染症の拡大により企業活動の制限を余儀なくされたことで受注が減少したことに加え、物件の納入と売上計上時期の関係により売上が前年同四半期対比で減少しています。受注残高は増加しておりますが、感染拡大の状況によってはお客様の建屋工事に遅れが発生し、そのために当社設備の納入工事が遅延することによって売上時期が変動する可能性があります。

その他

売上高は1,255百万円（前年同四半期連結累計期間対比2.5%増）、セグメント利益は70百万円（同4.2%増）となりました。

圧縮機製品では、アメリカにおいて当四半期後半から製造業が操業停止したことにより一般製造向け圧縮機の売上は低迷するも、医療向けオイルフリー圧縮機の売上が大きく伸長しました。また、ブラジルにおいても同様に医療向けオイルフリー圧縮機の売上が伸長しました。

真空機器製品では、アメリカにおいてPCR検査キット製造市場向け真空ポンプの販売が拡大しました。

塗装機器製品では、アメリカにおいて当四半期の後半に発令されたロックダウンの影響により、販売店・ユーザの活動が制限されたため販売活動が縮小したものの、外出自粛による巣籠もり消費の増加などに起因して、エアブラシの売上が伸長しました。

塗装設備製品では、メキシコにおける自動車製造向け塗装設備の受注・納入により売上が伸長しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、2020年6月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,850,291	10,297,017
受取手形及び売掛金	7,722,900	5,957,506
有価証券	—	200,000
商品及び製品	3,899,513	4,024,863
仕掛品	1,133,701	1,109,804
原材料及び貯蔵品	2,273,238	2,985,162
その他	1,148,741	1,516,098
貸倒引当金	△265,279	△246,406
流動資産合計	26,763,107	25,844,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,358,783	5,219,938
その他（純額）	6,468,342	6,334,500
有形固定資産合計	11,827,126	11,554,438
無形固定資産		
のれん	1,269,023	1,192,362
その他	1,588,485	1,595,403
無形固定資産合計	2,857,508	2,787,765
投資その他の資産		
投資有価証券	4,510,713	4,181,177
その他	2,154,314	1,972,930
貸倒引当金	△10,725	△10,725
投資その他の資産合計	6,654,301	6,143,383
固定資産合計	21,338,937	20,485,586
資産合計	48,102,044	46,329,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,251,944	3,885,036
短期借入金	909,930	876,044
未払法人税等	443,970	124,949
賞与引当金	667,484	300,003
その他の引当金	345,484	220,088
その他	2,878,592	3,063,002
流動負債合計	9,497,408	8,469,124
固定負債		
退職給付に係る負債	2,169,606	2,161,762
役員株式給付引当金	39,785	51,824
その他	1,824,773	1,742,618
固定負債合計	4,034,165	3,956,206
負債合計	13,531,573	12,425,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,117,838	1,108,217
利益剰余金	27,136,665	27,070,871
自己株式	△185,165	△185,165
株主資本合計	31,423,692	31,348,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217,457	228,210
為替換算調整勘定	△332,219	△773,892
退職給付に係る調整累計額	△216,271	△186,248
その他の包括利益累計額合計	△331,032	△731,930
非支配株主持分	3,477,811	3,287,956
純資産合計	34,570,471	33,904,302
負債純資産合計	48,102,044	46,329,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,672,694	6,914,605
売上原価	4,700,883	3,762,974
売上総利益	3,971,810	3,151,631
販売費及び一般管理費	3,243,112	2,741,379
営業利益	728,697	410,251
営業外収益		
受取利息及び配当金	56,376	53,413
持分法による投資利益	86,243	76,627
その他	49,023	106,315
営業外収益合計	191,643	236,356
営業外費用		
支払利息	21,357	17,459
為替差損	59,015	55,591
その他	1,666	11,886
営業外費用合計	82,040	84,937
経常利益	838,301	561,670
特別利益		
固定資産売却益	2,810	390
雇用調整助成金	—	76,340
特別利益合計	2,810	76,731
特別損失		
固定資産除売却損	174	399
新型コロナウイルス感染症による損失	—	90,316
子会社整理損	24,975	—
特別損失合計	25,150	90,716
税金等調整前四半期純利益	815,962	547,685
法人税、住民税及び事業税	190,242	81,394
法人税等調整額	30,823	33,535
法人税等合計	221,065	114,930
四半期純利益	594,896	432,754
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	64,519	△2,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	530,377	435,071

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	594,896	432,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,549	10,752
為替換算調整勘定	100,035	△512,594
退職給付に係る調整額	20,277	30,023
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,419	△14,920
その他の包括利益合計	27,343	△486,739
四半期包括利益	622,240	△53,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,926	34,173
非支配株主に係る四半期包括利益	85,313	△88,158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,603,051	1,266,918	2,633,370	7,503,339	1,169,354	8,672,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,251,623	49,860	500,379	1,801,863	55,325	1,857,189
計	4,854,674	1,316,779	3,133,749	9,305,203	1,224,679	10,529,883
セグメント利益	523,504	133,966	258,522	915,993	67,861	983,854

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	915,993
「その他」の区分の利益	67,861
セグメント間取引消去	99,294
全社費用(注)	△354,451
四半期連結損益計算書の営業利益	728,697

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,894,918	1,141,850	1,692,335	5,729,104	1,185,501	6,914,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,232,419	54,903	419,484	1,706,807	69,902	1,776,709
計	4,127,337	1,196,753	2,111,819	7,435,911	1,255,404	8,691,315
セグメント利益	511,060	101,291	4,476	616,828	70,726	687,555

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	616,828
「その他」の区分の利益	70,726
セグメント間取引消去	△70,479
全社費用(注)	△206,824
四半期連結損益計算書の営業利益	410,251

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2019年10月1日の取締役会において、当社の100%子会社であるアネスト岩田コンプレッサ株式会社とアネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社を2020年4月1日付で吸収合併することを決議し、2020年4月1日付で合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業

企業名	事業の内容
アネスト岩田コンプレッサ株式会社	圧縮機、真空機器の販売及び修理
アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社	塗装機器の販売及び修理、塗装設備の製造販売及び修理

(2) 企業結合日

2020年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、アネスト岩田コンプレッサ株式会社とアネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社を消滅会社とする簡易合併

(4) 結合後企業の名称

アネスト岩田株式会社

(5) 取引の目的を含む取引の概要

顧客満足度のさらなる向上を実現していくことを目的として、営業機能とサービス機能を統合することにより当社グループの事業基盤を強化するとともに、オペレーションの効率化を図るため。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2019年6月25日開催の第73期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(監査等委員である取締役、及びそれ以外の取締役のうち社外取締役であるものを除く。)及び取締役を兼務しない執行役員(以下、「取締役等」という。)を対象に、中長期的な業績の向上と企業価値の増大、株主重視の経営意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下、「本制度」という。)の導入をしております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定する信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。)が、当社より拠出する金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」という。)が給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する当社株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における自己株式の帳簿価格は179,733千円、株式数は180千株であり、当第1四半期連結会計期間末における自己株式の帳簿価格は179,733千円、株式数は180千株です。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。